

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部は、人材育成その他の教育研究上の目的を設定している。その内容は、経済学の知識をもとに経済社会を理解し、問題解決の方法を構想しうる人材を育成すること、中部経済の特性を理解し、地域社会からグローバルに活躍できる人材の育成であり、経済学部の人材育成の目的として適切である。(根拠資料1-1経済、根拠資料1-2経済)</p> <p>(2) 経済学部の人材育成その他の教育研究上の目的は、経済学を学び、その実践的応用によって、自ら経済社会の課題を分析できる人材を育成することである。これは大学の理念の行学一体にもとづくものである。また、それにより、グローバルかつローカルな視点から社会経済に貢献できる人材を養成することも経済学部の目的であり、これは大学の理念の報恩感謝にもとづくものである。(根拠資料1-1経済、根拠資料1-2経済)</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1経済	人材の養成・教育研究上の目的(経済学部履修要項、p.2)			
1-2経済	経済学部学部概要(経済学部ウェブサイト)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部の人材の養成・教育研究上の目的を、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。(根拠資料1-1経済、根拠資料1-3経済、根拠資料1-4経済)</p> <p>(2) 毎年度、全学部生と教員に配布する履修要項及び大学ホームページに、大学の理念・目的、経済学部の人材の養成・教育研究上の目的を掲載し、教職員及び学生に周知するとともに社会に公表している。(根拠資料1-1経済、根拠資料1-3経済)</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1経済	人材の養成・教育研究上の目的(経済学部履修要項、p.2)			
1-3経済	愛知学院大学各学部の人材養成・教育上の目的 経済学部(経済学部ウェブサイト)			
1-4経済	愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既にも実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、2019年春学期より、教員ポートフォリオと学生ポートフォリオを作成し、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーにもとづき、教員と学生の状況の点検・評価および改善の提言を行っている。その手続きを経済学PDCAサイクルとし、自己点検自己評価委員会において、次年度以降の授業や研究環境の改善についてまとめ、それらを実施に移す。(根拠資料2-1経済、根拠資料2-2経済、根拠資料2-3経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2-1経済	経済学部学生ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			
2-2経済	経済学部教員ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			
2-3経済	経済学部PDCAサイクル			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、ディプロマ・ポリシーにおいて、学位授与のために学生が取得すべき単位数を明示している。また、ディプロマ・ポリシーでは、基礎的・基盤的・発展的・総合的と呼ばれる4つの学士力を身につけるべきものとして設定している。これは、全学部生に配布する履修要項および大学ウェブサイトにおいて公表されている。(根拠資料4-1経済、根拠資料4-2経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1経済	卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)(経済学部履修要項、p.2)			
4-2経済	教育目標と3つのポリシー(ウェブサイト)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部カリキュラム・ポリシーにおいて、教養教育から、経済学の基礎科目・基幹科目・発展科目という3つの群を設定した体系性を重視したカリキュラムを設定し、その内容を履修要項及び大学ホームページにて公表している。また、各科目群について、授業内容、身につけるべき能力を明示し、進路別コア履修モデル・カリキュラムツリー・科目ナンバリングによって、教育課程の体系・内容・授業科目区分・授業形態を設定・公表している。(根拠資料4-3経済、根拠資料4-4経済、根拠資料4-5経済)</p> <p>(2) 経済学部ディプロマ・ポリシーにおいて、汎用的基礎学力を身につけている基礎的学士力、経済学的知識を基盤とする基盤的学士力、経済学の分析方法を用いて課題解決を導く発展的学士力、学びの成果の総合的な応用と活用ができる総合的学士力の4つの学士力を学生に求めている。教育課程編成・実施の方針ではそれらに対応した教養教育、基礎・基幹・発展科目という求める学士力に対応する科目群を設定している。(根拠資料4-3経済、根拠資料4-4経済、根拠資料4-5経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-3経済	教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)(経済学部履修要項、pp.3-4)			
4-4経済	教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)【ウェブ】			
4-5経済	カリキュラム(経済学部履修要項、pp.41-57)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、1年次に教養教育科目と経済学基礎科目、2年次以降に基盤的学士力を養成する科目群、3年次以降に発展的な科目を履修することができるように教育課程が構成されている。また2年次秋学期より専門演習を履修することにより、4年次卒業時に総合的学士力を身につけられるように継続的な教育がなされる。このように、教育課程は、教育課程の編成・実施方針と整合的である。(根拠資料4-3経済、根拠資料4-5経済)</p> <p>(2) 経済学部では、1年次に必修科目として、経済学の基礎としてミクロ経済学とマクロ経済学を履修し、また、数理的能力の習得のため、経済数学を必修としている。また、英語系科目と情報科目を必修としており、学生がまず基礎的学士力を習得するようにしている。学生はその後、進路別コア履修モデルで設定された科目群を、基幹科目と発展科目として選択して履修する。このように、教育課程の編成において、順次性、体系性への配慮は適切である。(根拠資料4-3経済、根拠資料4-5経済)</p> <p>(3) 経済学部のすべての科目は、カリキュラムマップによって、どのような能力を養うものであるかについて分類されている。また、カリキュラムマップとシラバスにおいて授業の概要と到達目標が明示されており、すべての科目が、教育課程編成・実施の方針にある、基礎的・応用的・実践的・総合的のいずれかの段階に当てはまるものとなっている。(根拠資料4-6経済)</p> <p>(4) 経済学部では、初年次に教養教育科目と経済学の基礎科目を配置し、また、経済学における数学の必要性から、高等学校における数学の復習と経済学に必要な数学を学ぶための経済数学を必修科目として配置している。2年次以降の専門教育は、基礎科目の習得をもとにした応用科目となっており、さらに、専門演習および卒業論文においてそれらを総合することで、学士として適切な能力を身につけられる教育内容を設定している。(根拠資料4-5)</p> <p>(5) 経済学部では、進路別コア履修モデルを設定し、学生の進路に応じた能力を習得できるように科目を配置している。進路として、グローバルビジネス、公務・行政、公共的ビジネス、金融ビジネス、専門的調査研究の5つを想定しており、各進路の科目群を履修することで、職業人としての知識や課題発見・解決力を身につけられる内容となっている。また、企業や官公庁から講師を招聘する社会に直結する科目として経済学特講Ⅰ・Ⅱも配置しており、学生の社会的・職業的自立のための教育を適切に実施している。(根拠資料4-5、根拠資料4-7)</p> <p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-3経済	教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)(経済学部履修要項、pp.3-4)			
4-5経済	カリキュラム(経済学部履修要項、pp.41-57)			
4-6経済	カリキュラムマップ(経済学部履修要項、pp.61-85)			
4-7経済	シラバス 経済学特講Ⅰ及び経済学特講Ⅱ			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、半期の履修の上限を28単位、各年次の履修の上限を44単位と設定している。また、シラバスにおいて、授業時間外の学習課題およびそれに必要とされる時間を明示し、成績評価の基準を明確に示していることで成績評価に厳格性をもたらしめている。(根拠資料4-8経済、根拠資料4-9)</p> <p>(2) 経済学部の各授業のシラバスには、テーマ、概要、到達目標、授業計画、評価方法・基準、授業時間外学習が明示される。授業内容とシラバスの整合性について、自己点検・自己評価委員会において、授業アンケートの結果と授業内容の整合性について評価し、必要であれば、経済学部FD委員会および教授会で審議し、改善の提言をすることで整合性を確保している。(根拠資料4-9経済、根拠資料4-10経済)</p> <p>(3) 経済学部では、2014年度から、アクティブラーニングの研究と促進を継続的に行っている。経済学部自己点検・自己評価委員会において、教員ポートフォリオを用いて、アクティブラーニングを実施している授業の把握や、学生の主体的参加を促す授業を増加する提言を行っている。(根拠資料4-11経済)</p> <p>(4) 経済学部は、1年次の履修相談会において、教員がすべての入学者を対象に履修指導を行っている。2年次以降は、専門演習の担当教員が、学生ポートフォリオにもとづき履修指導を行っている。また、1年次の必修科目の経済理論は3、4クラスに分け、1クラスを100人程度とし、基礎的内容の授業として適した人数にしている。演習形式の授業では、専門演習が約15名、専門購読が約20名、PCを利用する授業では台数分の人数に受講者数を制限している。(根拠資料4-12)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-8経済	履修制限単位数(経済学部履修要項、p.15)			
4-9経済	シラバス(愛知学院大学WebCampus url)			
4-10経済	経済学部PDCAサイクル(経済学部組織内資料)			
4-11経済	経済学部教員ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			
4-12経済	経済学部学生ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3) 卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4) <修士課程・博士課程> 学位論文審査基準を明示していますか。	
		(5) 学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6) 適切に学位授与を行っていますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 経済学部の単位制度について、履修要項に説明がある。すべての授業科目で、それに則ってシラバスを作成し、あらかじめ学生に示された基準によって単位認定を行っている。既修得単位については、教授会の審議を経ることにより単位認定を行っている。(根拠資料4-13経済、4-14経済)

(2) 経済学部の成績評価は、シラバスに明示された基準によって、定期試験の点数と授業内の点数の配分が決定される。定期試験答案用紙など評価に関わる書類は保存され、学生は、成績評価について教務課を通しての文書で問い合わせが可能であり、その文書は教務主任・学部長・事務長の承認を経る。また経済学部教員ポートフォリオにより、各授業の成績の分布を把握し、教授会において確認している。(根拠資料4-11経済、根拠資料4-15経済)

(3) 経済学部では、履修要項に卒業要件を明示している。卒業論文は、主査と副査による評価体制をとっており、審査手続きに則って提出および審査がなされる。審査手続きと評価基準については、Webcampusおよび専門演習IIIの各授業内で説明される。(根拠資料4-17経済、根拠資料4-18経済)

(4)

(5) 学位審査は、卒業要件(教養教育科目36単位、専門教育科目76単位、グリープーン16単位の合計128単位取得)を満たしているかどうかによって行われ、経済学部教授会の審議を経て、最終的に代表教授会において認定される。これは、履修要項に明記している。(根拠資料4-19経済)

(6) 学位の授与は、教授会における卒業判定において、卒業要件を満たしていることが確認された学生のみになされる。卒業要件を満たしていない学生については、教授会における審議を経て、学位が授与されないことが決定される。(根拠資料4-19経済)

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

4-11経済	経済学部教員ポートフォリオ(経済学部組織内資料)
4-13経済	単位制度(経済学部履修要項、p.10)
4-14経済	単位認定、学則(経済学部履修要項、p.38.p88-93)
4-15経済	成績評価についての問い合わせ(経済学部履修要項、p.35)
4-16経済	経済学科の卒業要件単位について(経済学部履修要項、pp.54-55)
4-17経済	卒業論文評価体制と評価手続きおよび審査・成績評価基準(経済学部組織内資料)
4-18経済	愛知学院大学学位記授与に関する規程(経済学部履修要項、p.107)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 経済学部のアセスメント・プランを定め、ディプロマ・ポリシーに示す学習成果を測定するための指標を設定している。また、2019年度春学期より、ディプロマ・ポリシーにもとづいて作成された学生ポートフォリオにより、各学生の学習状況を把握、分析している。学生ポートフォリオによって、様々な角度から学生の成績や活動状況を把握することにより、ディプロマ・ポリシーに明示されている方針に沿った成果が得られているかを確認できる。(根拠資料4-12経済) (2) 経済学部では、2019年度春学期より、ディプロマポリシーにもとづいて作成された学生ポートフォリオにより、学生の学習成果を把握し、それらを分析することで、評価につなげる体制を取っている。アセスメントテストとして、SPI、TOEICをそれぞれ、基礎学力、英語力を測る試験として用い、経済学については、学部生に共通の経済理論の試験を行うことで、経済学の学習成果を測る。(根拠資料4-12経済)				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-12経済	経済学部学生ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 経済学部では、2019年度春学期より、経済学部学生ポートフォリオおよび教員ポートフォリオにより、各学生および教員の状況を把握することで学部の状況を把握している。これらは、自己点検・自己評価委員会においてまとめられ、そのデータにもとづきFD委員会において改善の提案が作られ、最終的に教授会の審議を経て、改善を実施していくことが決定される。これを経済学部PDCAサイクルとする。(根拠資料4-10経済、根拠資料4-11経済、根拠資料4-12経済) (2) 経済学部では、2019年度春学期より、経済学部PDCAサイクルを行っている。学生ポートフォリオおよび教員ポートフォリオにより自己点検・自己評価委員会においてまとめられ、そのデータにもとづきFD委員会において改善の提案が作られ、最終的に教授会の審議を経て、改善を実施していくことが決定される。教育課程の改善事例として、これまで「経済学特講I・II」を設置していたキャリアに関する科目を、1年次からの体系化と充実化のため、2020年度からキャリア教育科目として新設した。(根拠資料4-10経済、根拠資料4-11経済、根拠資料4-12経済)				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-10経済	経済学部PDCAサイクル(経済学部組織内資料)			
4-11経済	経済学部教員ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			
4-12経済	経済学部学生ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、ディプロマ・ポリシーとアドミッション・ポリシーを設定しており、これらはウェブサイトにおいて公表されている。アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーと関連付けられており、経済学を基礎として、それを応用することで社会で活躍しようとする人材を受け入れるものとしている。(根拠資料5-1経済)</p> <p>(2) 経済学部では、経済学を学ぶための基礎的な学力、高等学校において履修しておくべき科目、国内外の経済や社会の問題に関心をもつ学生を受け入れる方針であることをアドミッション・ポリシーに明記している。判定水準は、各入学試験について経済学部入試委員会において提案され、経済学部教授会の審議を経て決定される。(根拠資料5-1経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-1経済	アドミッションポリシー(愛知学院大学ウェブサイト)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、学生募集および入学者選抜は、通常の高専卒業予定者に対しては、公募推薦入試と一般入試とセンター試験利用入試によって行われる。これらは、アドミッションポリシーにある、経済学を学ぶための基礎的な学力を備えているかどうかを判定するためであり、受験科目は入試要項において公表されている。(根拠資料5-2経済)</p> <p>(2) 愛知学院大学入学試験委員会規程に基づき、代表教授会の下に入学試験委員会を置き、入学試験委員会において入学者選抜を実施する体制を適切に整備している。</p> <p>(3) 経済学部の入学者選抜は、大学の規程にしたがって行われており、公正なものである。(根拠資料5-3経済)</p> <p>(4) 経済学部では、一般の高等学校卒業生だけでなく、大学第2、3学年からの編入試験、社会人入試、帰国者入試、外国人留学生入試も行っており、それぞれに受験科目と水準を定めている。(根拠資料5-2経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-2経済	ウェブサイト(入試要項) <input type="text" value="ur"/>			
5-3経済	愛知学院大学規程集			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 経済学部の収容定員は1010名であり、2019年度は在籍者数1070名で、収容定員充足率は105.9%であった。入学定員は250名であり、入学者数は282名であった。充足率がオーバーしているため、専門演習の定員を例年より2名増加し、できるだけ多くの学生を細かく指導できる体制とした。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-4経済	定員・学生数等(愛知学院大学ウェブサイト)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 経済学部では、入学者の入試種類とその後の成績・活動について、学生ポートフォリオと経済学部PDCAサイクルにもとづき点検・評価を行っている。(根拠資料5-5経済、根拠資料5-6経済) (2) 経済学部では、点検・評価結果から、各入試の種類に対する募集定員の在り方や、初年次教育について、経済学部PDCAサイクルにもとづき、改善・向上に向けた取り組みを行っている。(根拠資料5-5経済、根拠資料5-6経済)				
[根拠資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-5経済	経済学部PDCAサイクル(経済学部組織内資料)			
5-6経済	経済学部学生ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 経済学部の教員組織の編制方針についての文書を作成している。(根拠資料6-1経済)				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-1経済	経済学部 教員組織の編制方針			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 経済学部の専任教員数は現在15名であり、設置基準を上回っている。この人数は、例えば、専門演習(ゼミナール)1学年の定員が15名程度で実施可能となるものであり、適切な教員数と言える。(根拠資料6-1経済)				
(2) 経済学部の教員組織の編制方針にもとづき、計画的に新任教員の採用と昇任を行っている。				
(3) 経済学部では、主要な授業科目についてほとんどが専任教員が担当しており、学部において特に重要だと考えられる科目はすべて専任教員が担当している。専任教員の男女比率、授業担当負担、また、年齢構成について、教員組織編制の評価を行っており、適切であると考えられる。(根拠資料6-1経済)				
(4) 本学では、教養教育については教養部が担当しており、教養科目と専門科目の分担および接続について適切なものとなっている。(根拠資料6-2経済)				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-1経済	2019年度春学期教員組織編制について(経済学部組織内資料)			
6-2経済	年次別履修計画(経済学部履修要項、p.20)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、経済学部採用人事規程と昇任人事規程を設定しており、基準および手続が明示されている。(根拠資料6-3経済)</p> <p>(2) 募集・採用・昇任について、すべて教授会における規程にもとづく審議を経る。規程に則らない教員の募集・採用・承認を実施することはない。(根拠資料6-3経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-3経済	経済学部採用人事規程、経済学部昇任人事規程(経済学部組織内資料)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、2016年より、経済学部FD委員会を組織し、定期的に活動している。(根拠資料6-4経済)</p> <p>(2) 経済学部では、2019年春学期より、教員ポートフォリオを用いて、教育活動、研究活動、社会活動をまとめ、経済学部PDCAサイクルにもとづいて、評価、改善を行っている。(根拠資料6-5経済、根拠資料6-6経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-4経済	経済学部FD委員会議事録(経済学部組織内資料)			
6-5経済	経済学部教員ポートフォリオ(経済学部組織内資料)			
6-6経済	経済学部PDCAサイクル(経済学部組織内資料)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、教員組織の適切性について、自己点検・自己評価委員会において、点検評価を行っている。(根拠資料6-1経済、根拠資料6-7経済)</p> <p>(2) 経済学部では、教員組織の適切性について、点検・評価結果に基づく改善・向上への取り組みを経済学部PDCAサイクルにもとづいて行っている。(根拠資料6-6経済)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-1経済	2019年度教員組織編制について(経済学部組織内資料)			
6-6経済	経済学部PDCAサイクル(経済学部組織内資料)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部は、東海東京証券株式会社、中部圏社会経済研究所、財務省東海財務局、東海農政局と提携協定を結んでおり、地域における経済活動について、授業や課外活動への参加等を行っている。また定期的に公正取引委員会の特別授業を実施している。(根拠資料9-1経済)</p> <p>(2) 経済学部では、上述の学外組織との提携協定により、毎年度、授業や講演会、また課外活動への参加等を行っている。その数は年々増加しており、学外組織との連携による教育活動を推進している。(根拠資料9-1経済)</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-1経済	経済学部 NEWS & TOPICS (経済学部ウェブサイト) <input type="text" value="ur"/>			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 経済学部では、2019年度春学期より、経済学部自己点検・自己評価委員会により、学部の社会連携・社会貢献を点検・評価している。(根拠資料9-2経済)</p> <p>(2) 経済学部では、2019年度春学期より、経済学部PDCAサイクルにもとづいて、社会連携・社会貢献の改善・向上に向けた取り組みを行っている。(根拠資料9-2経済)</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-2経済	経済学部PDCAサイクル(経済学部組織内資料)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に行っている場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A